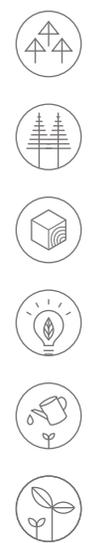


*more***Trees**®



2018年活動報告書

01. 目次/メッセージ
02. 「more trees の森」 マップ

more trees × SDGs

03. - more trees の取り組みとSDGs
04. - SDGs セミナー

森林プロジェクト実施状況

05. - 003. 北海道 美幌町
06. - 004. フィリピン キリノ州

ものづくり事業

07. - オリジナルプロダクト
08. - コラボレーションアイテム/空間

普及啓発事業

09. - イベント/ワークショップ
10. - セミナー/講義/シンポジウム
11. - ツアー
12. 協賛事例
13. 協賛者様一覧
14. 法人概要

メッセージ

more treesが続けてきた森づくりの活動は、おかげさまで12年目を迎えました。多くの皆様にご支援をいただいておりますことを心より御礼申し上げます。

2018年は数多くの自然災害や異常気象が際立った1年でした。

西日本豪雨や大型台風の直撃、記録的豪雪、そして「災害級」とも言われた猛暑など、本当に多くの出来事が相次ぎました。もはや、気候変動は確実に進んでいると認めざるを得ません。

森林は、土砂災害の防止や水質の浄化、気候変動の緩和などさまざまな公益的機能を有しています。私たちは、森林が持つ多くの恵みをさらに引き出しながら、都市と森が寄り添える社会に向けて、より一層励んでいきたいと考えています。

国内では、2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」に対する理解が徐々に浸透しつつあります。「SDGs」が示す17目標の最後に掲げられているのが「パートナーシップで目標を達成しよう」です。

困難かつ複雑な社会課題を解決するには、企業や行政、NGO/NPOとのパートナーシップが欠かせません。私たちmore treesは、セクターの壁を超えた協働・連携をさらに進め、森林や地域が抱える課題に取り組んでまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

more trees事務局長 水谷伸吉

more treesは

「都市と森をつなぐ」森林保全団体です。

一般社団法人more trees (モア・トゥリーズ)は、
音楽家 坂本龍一によって

2007年に設立された森林保全団体です。

いま世界は、気候変動や生物多様性の危機など、
森林の減少がその一因と言える

さまざまな問題を抱えています。

状況は深刻で、解決はおろか、

改善も容易ではありません。

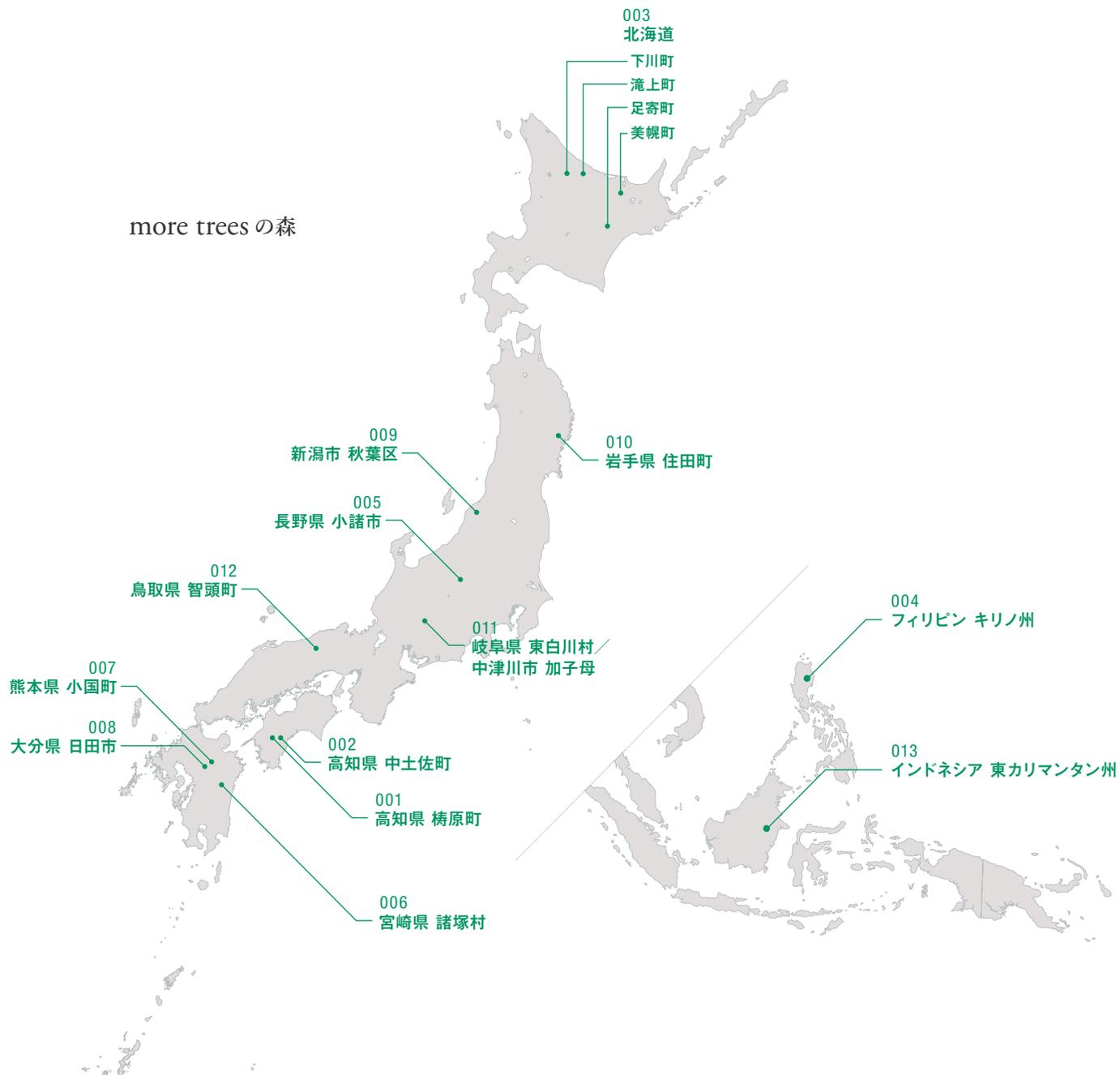
それでも、目の前にあることから取り組む
という姿勢を、私たちは大切にします。

現実を見つめつつ、森を育む仲間とともに、

「都市と森をつなぐ」をキーワードに

少しでも前向きな活動をしていきたいと考えています。

more trees の森





more treesの取り組みとSDGs

近年、世界的なキーワードとして関心を集める「SDGs」。国内でも「SDGs」を念頭に置いた社会貢献活動や、ビジネス戦略に取り組む企業が増えています。

more treesでは、「SDGs」を一つのきっかけとし、人々の生活に寄与する森林の機能や森林保全を通じて改善できる社会課題について、より多くの方々とともに考え、活動に取り組んでいきたいと考えています。

SDGsとは

2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs」は、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、国連に加盟する193か国が2030年までに達成すべき17の目標と、各目標を達成するための具体的な169のターゲットから構成されています。「誰一人取り残さない」という理念の下、誰もが安心・安全で豊かな暮らしが継続できることを目標としています。

森林保全で達成されるSDGsの目標

2017年1月に国連森林フォーラム (UNFF) が採択した「国連森林戦略計画2017-2030」では、「SDGs」の17の目標のうち森林分野が14の目標達成に寄与することが示されました。森林保全に伴う森の機能の回復により、陸上資源のみならず海洋資源や水資源の保全につながるほか、気候変動対策など国内外のさまざまな課題解決に貢献することができます。

more treesの“森づくり”とSDGs

more treesは、森林が持つさまざまな機能の回復を目指した保全活動のほか、森からは製品・サービス・情報・体験などを都市に届けること、都市からは森の恵みの価値を受け止めた人々の想いや経済的な対価を森に還すことで、「都市と森をつなぐ」活動を行っています。この循環を生み出し維持することが、私たちの考える“森づくり”であり、「SDGs」の目標達成にも寄与する取り組みです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの17の目標



「都市と森をつなぐ」more treesの活動

SDGs セミナー

2018年11月26日

「SDGs達成のカギを知る
～企業活動と生物多様性・森林の関係とは～」
@アカデミーヒルズ

more treesは、「SDGs」への関心の高まりを受け、主にビジネスパーソンの方を対象に、生物多様性や森林分野と「SDGs」との関係を紐解くセミナーを自主開催しました。

基調講演にご登壇いただいたアマタホールディングス株式会社の本多清氏からは、「SDGsと生物多様性」をテーマに、生物多様性の基礎知識、企業に必要とされている環境戦略について解説いただきました。

続くパネルディスカッション「企業価値を高めるSDGs戦略とは」では、基調講演に引き続き本多清氏、そしてサントリーホールディングス株式会社の内貴研二氏にご登壇いただきました。事業活動の一環として進めている環境保全・再生への取り組みについて具体的な事例をご紹介いただき、来場者の関心を集めていました。

企業担当者の方をはじめ、大変多くの方々にご参加いただき、「SDGs」への関心の高さを感ずると同時に、具体的な取り組み方法が見えにくく、企業として対応に苦慮されている様子も伺えました。

今回のセミナーによって、生物多様性や森林といったキーワードの中に「SDGs」の目標達成に向けたヒントがあること、そしてこうした取り組みが企業価値を高める一助となることを感じていただくことができました。



基調講演



パネルディスカッション



100名を超える来場者の方々



地域と協働で取り組む森林保全活動は徐々に広がり、2018年12月現在、国内11か所、海外2か所で「more treesの森」を展開しています。
その中でも今年、特に動きがあったプロジェクトについてご報告します。

北海道 美幌町



project 003

北海道 美幌町

美幌町は北海道東部に位置し、阿寒摩周国立公園内に位置する美幌峠をはじめ、多くの観光客が訪れる自然豊かな町です。more treesは北海道4町（下川、足寄、滝上、美幌）で構成する「森林バイオマス吸収量活動推進協議会」および4町各自治体と、森づくりを通じて創出されたカーボン・オフセット クレジットを始めとする森林資源の活用を図るべく、2009年に協定を締結しました。

農業や畜産業と並び、林業が盛んな美幌町は、2005年に国際的な森林認証である「FSC®認証」を取得し、カラマツやトドマツなどを生産しています。地域産材の活用も積極的に進めており、地元の林業や森林の魅力を広める「美幌林業館」の建物には、美幌町産の木材がふんだんに使用されています。併設された木育ひろば「きてらす」には、「more treesの森」がある宮崎県諸塚村のFSC®認証を取得したスギを使ったmore treesオリジナルプロダクトの『つみき』を導入いただき、たくさんのお子もたちの人気を集めています。2018年には、国内での森林整備の新たな形として、針葉樹のみならず多様な樹種により構成される針広混交林や広葉樹林への移行を目指し、全国の「more treesの森」に先駆けて美幌町にて取り組みを開始しました。

今後、カラマツやトドマツに限らず、郷土樹種であるタモヤミズナラ、カバなどの広葉樹を含む多様性のある森林を増やすことで、自然災害や病害虫に対するリスクを低減し、土壌保全や水源涵養、生物多様性などの多面的機能のさらなる回復を目指しています。



美幌町の「more treesの森」



植栽直後の苗木



美幌林業館「きてらす」

project 004

フィリピン キリノ州

フィリピンは森林荒廃が深刻な国のひとつで、20世紀はじめには国土の約7割を占めていた森林が、2010年には約3割弱にまで減少しています。日本は、戦後間もないころからフィリピンの木材を輸入しはじめ、1980年代に枯渇の恐れが深刻化するまでフィリピンの森林資源に大きな影響を与えてきました。

日本の発展に深く関わってきたフィリピンの森林の回復を目指し、more treesは2009年よりルソン島北部のキリノ州マデラ市を中心に、植林プロジェクトに取り組んでいます。



フィリピン キリノ州

対象地の面積は約180ヘクタールで、東京ドームおよそ40個分の広さに相当します。現地の3つの住民組織とともに150か所以上の区画で在来種の植林を行い、定期的な経過観察を続けています。近年は植林した木々の成長に伴い、乾季には枯れていた泉が枯れなくなる等の植林による副次的な効果も見られ始めています。

さらに、地域住民の貧困改善のためにアグロフォレストリー（植林木の間で果樹も同時に育てること）を導入することで、収穫した果実の販売による現金収入の機会を創出しています。2017年からは、収穫したランブータンの実の販売が開始されました。

この地域一帯にはフィリピンの生物種の約半分が生息しているといわれており、植林後も適切な森林管理を継続することで、生物多様性の保全にも貢献しています。今後も地域住民を主体とした本プロジェクトの取り組みをサポートしてまいります。



大きく成長した植林木



住民組織により育てられた苗木



ステークホルダーによる会合



オリジナルプロダクト

日本は国土の約7割が森で覆われる森林大国でありながら、輸入材との競争や木材需要の低下から国産材の価格が下落し、林業は衰退の一途をたどっています。適切な手入れがされずに放置されたままの森は、環境や生態系のバランスが崩れ、土砂災害などの被害をもたらす原因にもつながります。

こうした現状を改善するため、more treesでは間伐などの森林整備とともに国産材の活用を推進し、デザイナーや地域の職人と協働でオリジナルプロダクトの企画・製造・販売を行っています。

2018年は国内外で行われた展示会への出展のほか、新たに多数のショップにてお取り扱いを開始いただきました。

国内展開

「くまのもの 隈研吾とささやく物質、かたる物質」
@東京ステーションギャラリー

「よりみち美術館」@彫刻の森美術館

「Interior Lifestyle Tokyo」@東京ビッグサイト

「ジャスパー・モリソン デザインストア」
@GOOD DESIGN STORE TOKYO

「建築の日本展」@森美術館

「デザインあ展 in Tokyo」@日本科学未来館

「民藝 MINGEI -Another Kind of Art展」
@21_21 DESIGN SIGHT

海外展開

「NY NOW」@Jacob K. Javits Convention Center
(アメリカ ニューヨーク)

「隈研吾的材料公園」@勤美術館 (台湾 台中)

JAPAN HOUSE LONDON (イギリス ロンドン)

「Jasper Morrison : THINGNESS」
@piknic (韓国 ソウル)

ヴィクトリア&アルバート・ミュージアム ダンディ
(イギリス スコットランド)

「隈研吾の材料研究室」@虹橋国際展匯 (上海)



くまのもの 隈研吾とささやく物質、かたる物質



NY NOW (ニューヨーク)



よりみち美術館



隈研吾の材料公園 (台湾)



Interior Lifestyle Tokyo



JAPAN HOUSE LONDON (ロンドン)

コラボレーションアイテム／空間

国産材などの森の恵みを活用した製品やノベルティー、コラボレーションアイテムの企画・開発・製造のお手伝いをしています。

また、国産材を活用した空間デザインから店舗什器の製作、木材の提供まで、さまざまなシーンで国産材利用のきっかけづくりをサポートしています。



アロマブロック



一輪挿し



クリスマスノベルティ



シューズボックス



テーブルウェア／脚



丸太什器

コラボレーションアイテム事例

スーパーホテル
アロマブロック

ハリウッド化粧品
一輪挿し

Afternoon Tea LIVING
クリスマスノベルティ

Slow LIVE
いすキット

空間事例（店舗什器）

三陽山長
東京ミッドタウン日比谷店 他

S.ESSENTIALS
日本橋高島屋S.C. 店

コスメキッチン
ルミネ大宮2店 他



イベント／ワークショップ

都市の暮らしの中でも森を身近に感じられるよう、各地でイベントやワークショップを開催しています。

2018年は、オリジナルプロダクト『つみき』を使った「まちづくり体験」、親子で参加できる「いす作り」や「スプーン作り」のワークショップなどを行いました。



2018年1月27、28日
「天王洲チャンネルマルシェ」
いす作り・つみき ワークショップ
@CANAL EAST 天王洲アイランド第三水辺広場

2018年5月3～5日
「木とあそぼう 森をかんがえよう
with more trees」
@アークヒルズ アーク・カラヤン広場

2018年5月27日
「西新宿フォレストフェスタ」
スプーン作り ワークショップ
@ザ・パークハウス 西新宿タワー 60

2018年8月10日
スプーン作り ワークショップ
@Afternoon Tea LIVING たまプラーザ
テラス店

2018年8月11、12日
「SAYEGUSA TOUCH GREEN」
いす作り ワークショップ
@ギンザのサエグサ ザ・メインストア銀座/
ザ・ストア大阪

2018年8月25、26日
いす作り ワークショップ
@cocochi HIROOKA

2018年9月15日
つみき ワークショップ
@清心幼稚園

セミナー／講義／シンポジウム

日本や世界の森林事情をはじめ、森林や木材の魅力、社会貢献や地域との協働など、さまざまな観点から森について伝える活動を続けています。こうした学びの場が、森や木への関心を高め、それぞれの立場から次の一步を踏み出すためのきっかけになると考えています。

2018年は、企業、学生、行政から一般の方まで、幅広い世代や立場の方を対象にした講義の場や、森林にとどまらず様々なテーマのシンポジウムなどで登壇する機会をいただきました。



サステナブル・ブランド国際会議



丸の内朝大学「アーバン森暮らしクラス」



ソフィアシンポジウム

2018年1月26日
東京学芸大学附属国際中等教育学校
「国際協力と社会貢献」

2018年2月23日、11月30日
「MASHING UP」
(企画：MASHING UP実行委員会)

2018年2月24日
「第5回木育サミットin秩父」
(主催：認定NPO法人 芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館)

2018年3月2日
「サステナブル・ブランド国際会議2018東京」
(主催：株式会社博展／Sustainable Life Media, Inc.)

2018年3月24日
「第11回世界森林認証祭り 森の恵みの感謝祭」
(主催：宮崎県諸塚村森林認証研究会)

2018年4月19日～6月7日
丸の内朝大学「アーバン森暮らしクラス
信州・浅間山麓編」(全7回)

2018年6月17日
ソフィアシンポジウム2018「SDGsの実現に向けて：森の生態系サービスを生かした持続可能な地域づくり」
(主催：上智大学大学院地球環境学研究科／上智大学地球環境研究所)

2018年6月21日
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
社内講演

2018年6月28日
「日本-インドネシア国交樹立60周年記念
森林セクターセミナー」
(主催：在東京インドネシア大使館)

2018年6月30日
重要文化的景観選定記念シンポジウム
「智頭の林業景観を次世代へ」
(主催：智頭町／智頭町教育委員会)

2018年12月5日
「JAPAN BRAND PRODUCE SCHOOL」
(主催：JAPAN BRAND PRODUCER
養成事業 運営事務局)

他多数



ツアー

「more treesの森」として協定を結ぶ各地域とのネットワークを活かし、森を感じるツアーを実施しています。実際に現地を訪れることで、自然の美しさはもちろん、人や食べ物、そしてそれらを育ててきた気候、文化、歴史を自らの五感で感じ、森や地域とのつながりを築くことができます。2018年に実施したツアーでは、more treesをご支援いただいている法人・個人の方々にご参加いただき、「more treesの森」や木材市場の見学、林業体験や山菜採り、地元の方との交流会などを通じ、さまざまな形で森や地域の魅力に触れていただくことができました。

2018年5月19、20日
丸の内朝大学「アーバン森暮らしクラス」
フィールドワーク
@長野県小諸市

2018年6月24日
コモンズ投信株式会社
ステークホルダー向けツアー「コモンズピクニック」
@長野県小諸市

2018年11月3、4日
オリジナルツアー
@熊本県小国町



間伐体験 (長野県小諸市)



ワイナリー見学 (長野県小諸市)



山菜採り体験 (長野県小諸市)



採りたての山菜を使った料理 (長野県小諸市)



木材市場見学 (熊本県小国町)



アロマのワークショップ (熊本県小国町)



売上や社会貢献などの企業活動と連動したご寄付や、カーボン・オフセットの取り組み、不要品を通じたご寄付などを通じ、多くの法人・個人の皆様よりmore treesの活動をご支援いただいています。

省資源の取り組みによるご寄付

*店舗にてショッピングバッグをご辞退いただいたお客様の数に応じたご寄付

株式会社ユニテッドアローズ
「REDUCE SHOPPING BAG ACTION」

株式会社サザビーリーグ
(Afternoon Tea LIVING)
「ノーラッピング運動」

株式会社Francfranc
「Share Your Happiness」

ポイントのご寄付

株式会社オリエントコーポレーション
*「LOVE THE EARTHカード」の利用額に応じたポイントによるご寄付

売上の一部をご寄付

株式会社ジュン
BIOTOP「1% for more trees」
*複合型ショップBIOTOP (東京) の売上の1%をご寄付

ココノホップ株式会社
「コカゲビール for more trees」
*商品の売り上げの一部をご寄付

社会貢献活動を通じたご寄付

三井ダイレクト損害保険株式会社
*ご契約者様の投票割合に応じて寄付金額が分配される「三井ダイレクト損保スマイル基金」を通じたご寄付

株主優待制度を通じたご寄付

ユニプレス株式会社
*株主様に付与される優待ポイント分と、その合計ポイントと同額分を上乗せした金額をご寄付

カーボン・オフセット

株式会社スーパーホテル
*公式ホームページからご予約いただくことで、宿泊に伴い発生するCO2をオフセット

株式会社ニューポート
*事業活動 (商品の輸入・配送、提携倉庫での商品の保管等) により排出されたCO2をオフセット

ウィルライフ株式会社
*国産材の棺「エコフィン[Will]」をご利用いただくことで、葬送に伴い排出されるCO2をオフセット

不要品を通じたご寄付

「古本チャリティ募金」
*不要になった本やDVDなどの査定額をご寄付

「Brand Pledge」
*不要になった洋服やブランド品などの査定額をご寄付



LOVE THE EARTHカード (株)オリエントコーポレーション



エコフィン[Will] (ウィルライフ株)



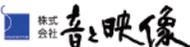
古本チャリティ募金
本で未来をつくってゆこう

古本チャリティ募金



協賛者様一覧

Supporters of More Trees

 <p>あいおいニッセイ同和損保 MS&AD INSURANCE GROUP</p> <p>あいおいニッセイ同和損害保険株式会社</p>	 <p>SUPERHOTEL</p> <p>株式会社スーパーホテル</p>	 <p>BIOTOP</p> <p>株式会社ジュン</p>	 <p>UNITED ARROWS LTD.</p> <p>株式会社ユナイテッドアローズ</p>	 <p>Newport</p> <p>株式会社ニューポート</p>			
	 <p>MS&AD</p> <p>三井ダイレクト損保</p> <p>三井ダイレクト損害保険株式会社</p>	 <p>UNIPRES</p> <p>ユニプレス株式会社</p>	 <p>BOTANIST</p> <p>株式会社I-ne</p>				
 <p>Japan Gateway</p> <p>株式会社 ジャパングートウェイ</p>	 <p>STAR*TECH STAGE ART & TECHNOLOGY</p> <p>株式会社スターテック</p>	 <p>BARNEYS NEW YORK</p> <p>株式会社 バーニーズ ジャパン</p>	 <p>NOHARA</p> <p>野原ホールディングス 株式会社</p>	 <p>WILLIFE.com</p> <p>ウィルライフ株式会社</p>	 <p>Afternoon Tea</p> <p>株式会社サザビリーグ</p>	 <p>ANA</p> <p>全日本空輸株式会社</p>	 <p>Francfranc</p> <p>株式会社Francfranc</p>
 <p>HOLLYWOOD ROPPONGI HILLS</p> <p>ハリウッド株式会社</p>	 <p>BLISS BLISS DESIGN FACTORY</p> <p>株式会社BLISS</p>	 <p>KOKAGE</p> <p>ココノホップ株式会社</p>	 <p>Orico</p> <p>株式会社オリエント コーポレーション</p>	 <p>TSUNAGO®</p> <p>株式会社中島重久堂</p>	 <p>AIGLE DEPUIS 1853</p> <p>株式会社 ラコステジャパン</p>	 <p>音と映像</p> <p>株式会社音と映像</p>	
<p>株式会社セレモニー 株式会社たかくら新産業 ヤフー株式会社 日本ホテル株式会社 トラボックス株式会社 医療法人社団 湘南太陽会 株式会社アンビエンテック 株式会社山内葬祭 一般社団法人森里海の環境基金 石倉ますみ 株式会社五色 エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社 株式会社アンプラージュインターナショナル 一般社団法人日本WPA 大貫妙子 株式会社サイモンズ アサヒベット株式会社 Mパターン研究所 株式会社NTTスマイルエナジー 株式会社クレコス 株式会社TOTONOU 株式会社日本グリーンエナジー 株式会社ヤマサキ 株式会社ヤマト 株式会社リソウ silvermoon 第四想庫 中江産業株式会社 飛騨フォレスト株式会社</p>							

※本報告書に記載の法人・個人様の名称につきましては、敬称を省略させていただいております。何卒ご了承ください。

法人概要

Corporate Profile

一般社団法人 more trees

151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-9-11 フレンシア外苑西 103

Tel 03 (5770) 3969

Fax 03 (5770) 3896

Mail info@more-trees.org

URL <https://www.more-trees.org>

事業内容

- ・国内外での森林保全（間伐／整備、植林など）
- ・森林に関するセミナー・イベント、森林を訪れるツアーの企画・開催
- ・国産材アイテムの企画・販売
- ・森林由来のカーボン・オフセットサービスの提供
- ・被災地支援活動
- ・その他、森林に関する事業全般

設立

2007年7月19日

役員

代表理事 坂本龍一

理事 池田正昭

見城徹

石橋直樹

監事 山崎卓也

*more***Trees**®

これからも「都市と森をつなぐ」をキーワードに活動を進めてまいります。
引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

